

道内6港が連携し、農水産物の輸出促進に向けた港湾施設の整備を促進

～全国第1号！農水産物輸出促進計画が認定されました～

国土交通省港湾局では、農水産物の輸出促進に向けた屋根付き岸壁や冷凍・冷蔵コンテナの電源供給設備の整備に対する支援制度を平成29年度予算において創設し、全国初の認定案件として、北海道6港湾の港湾管理者からの申請が認定される運びとなったところです（平成29年5月19日付け本省港湾局プレスリリース）。

本日、本省港湾局長室において認定書授与式が行われましたので、その際の様子をお伝えします。

本日、本省港湾局長室で、平成29年度予算において創設された、農水産物の輸出促進に向けた屋根付き岸壁や冷凍・冷蔵コンテナの電源供給設備の整備に対する支援制度の第1号認定案件の申請者である北海道6港湾（苫小牧港、石狩湾新港、紋別港、根室港、枝幸港及び増毛港）の港湾管理者に対し、認定書の授与式が行われました（別紙参照）。

北海道開発局では、本計画における平成37年の目標達成にむけ、北海道における農水産物の輸出を促進するため、輸出促進に必要な港湾施設の整備を戦略的に取り組むことに加えて、6港湾の連携強化、及び本計画の着実な推進を図るための支援を行っていきます。

【参考】

本省港湾局では、港湾管理者が策定した農水産物の輸出を促進するための行動計画（農水産物輸出促進計画）を国土交通省が認定した場合に、屋根付き岸壁や冷凍・冷蔵コンテナの電源供給設備の整備に対して支援を行う制度を平成29年度予算において創設しました。本制度を活用し、屋根付き岸壁や冷凍・冷蔵コンテナの電源供給設備の整備を通じて、我が国で生産される農水産物の輸出競争力の強化を推進するとともに、品質確保を通じた商品価値の向上を図ることにより、2019年の農林水産物・食品の輸出額1兆円政府目標の達成に向けて取組を進めることとしています。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

港湾空港部 港湾計画課 課長補佐 古屋（内線5614）

港湾空港部 港湾計画課 計画第1係主任 鶴沼（内線5618）

北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>

農水産物輸出促進計画認定式の開催(平成29年5月23日)

平成29年5月23日(火)、農水産物輸出促進計画の港湾局長認定書授与式が行われました(於:本省港湾局)。
輸出促進計画を策定した6つの港湾管理者が出席し、港湾局長から認定書が授与されました。



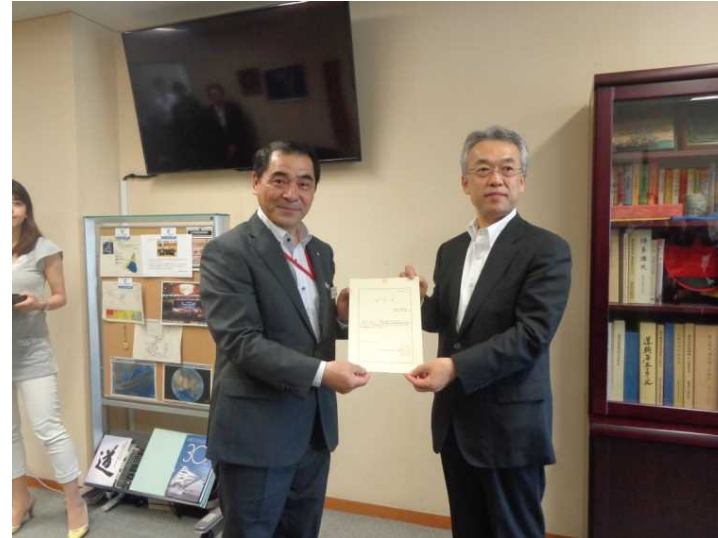
前列左から
増毛町 堀町長、紋別市 宮川市長、港湾局 菊地局長、
枝幸町 村上町長

後列左から
苫小牧港管理組合 佐藤施設部長、
石狩湾新港管理組合 本多専任副管理者、根室市 石垣副市長

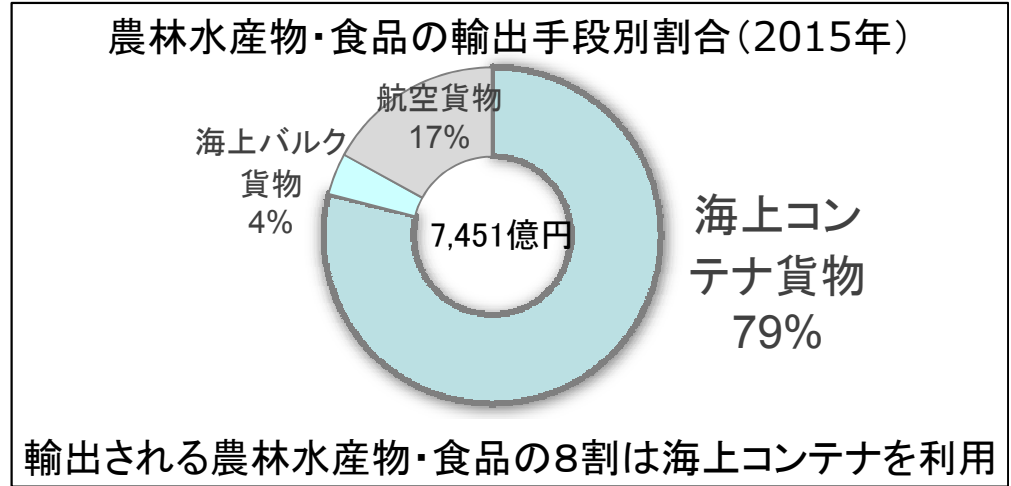
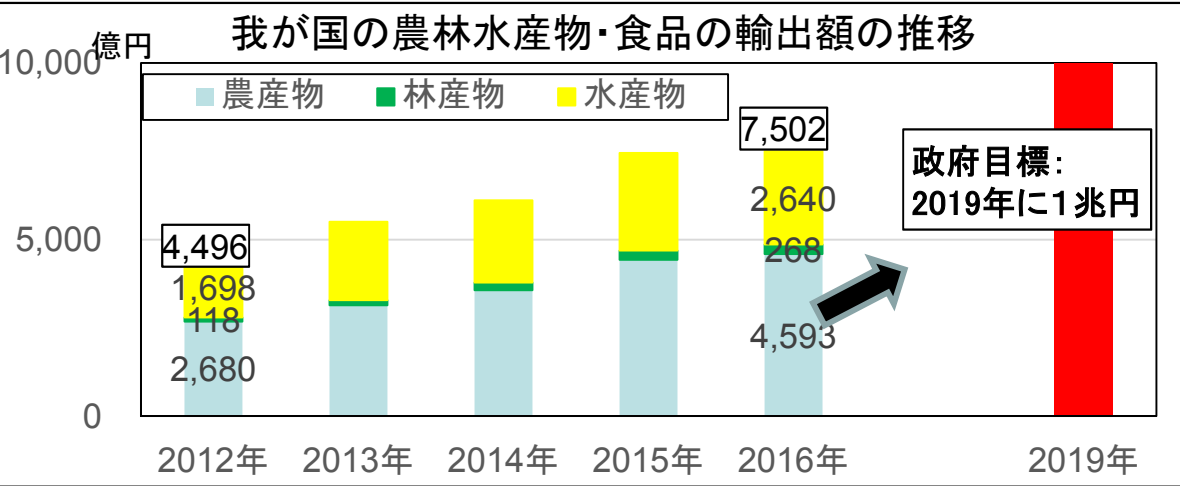
紋別市 宮川市長

枝幸町 村上町長

増毛町 堀町長



○新たな輸出成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応するため、農水産物の輸出に戦略的に取り組む港湾において、農水産物の輸出促進に資する港湾施設の整備を支援。



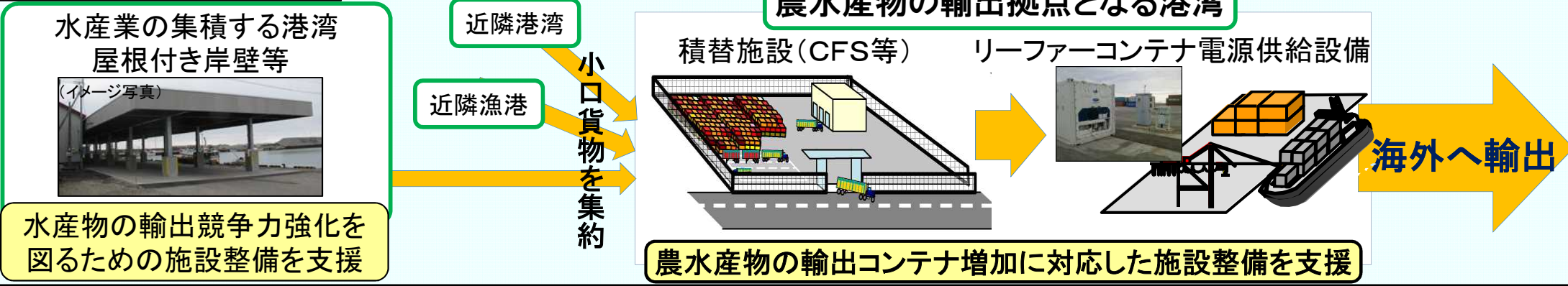
出典：農林水産省資料、貿易統計、H25全国輸出入コンテナ貨物流動調査に基づき国土交通省港湾局作成

制度概要

■ 港湾管理者が農水産物の輸出促進のための行動計画を策定し、国土交通省が認定した場合に以下の基盤整備を支援

- ・ 輸出拠点となる港湾における小口貨物積替円滑化支援施設やリーファーコンテナ蔵置時の電源供給設備の整備
- ・ 水産業の集積する港湾における水産物の輸出競争力強化を図るために実施する屋根付き岸壁等の整備

(例) 水産物輸出のイメージ



農水産物輸出促進計画(北海道)の概要①

輸出促進計画の概要

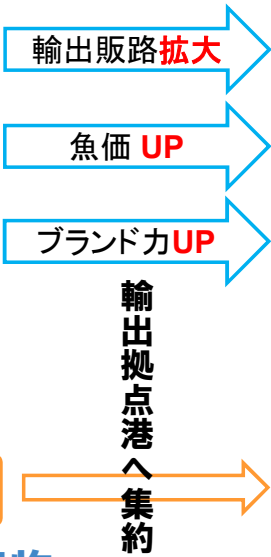
屋根付き岸壁の整備

連携水揚港湾
紋別港・根室港・増毛港・枝幸港・苫小牧港



連携水揚港湾における屋根付き岸壁整備により、商品価値を向上させ、輸出競争力を強化

農産品



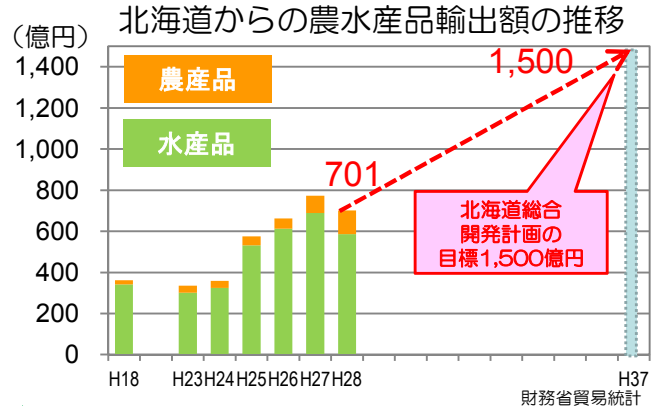
輸出環境の改善

輸出拠点港湾
石狩湾新港・苫小牧港




増加する道産農水産物の輸出需要に対応するため、輸出拠点港湾において小口積替円滑化支援施設やリーファーコンテナ電源供給装置を整備し、輸出環境を改善

海外へ輸出



政府目標達成へ貢献

2019年の農林水産物・食品の輸出額 1兆円

本計画の対象とする農水産物

水産品 ほたて、さけ、さんま、たら など

農産品 米、野菜、果物、製造食品 など

本計画の目標

輸出拠点港湾における目標値

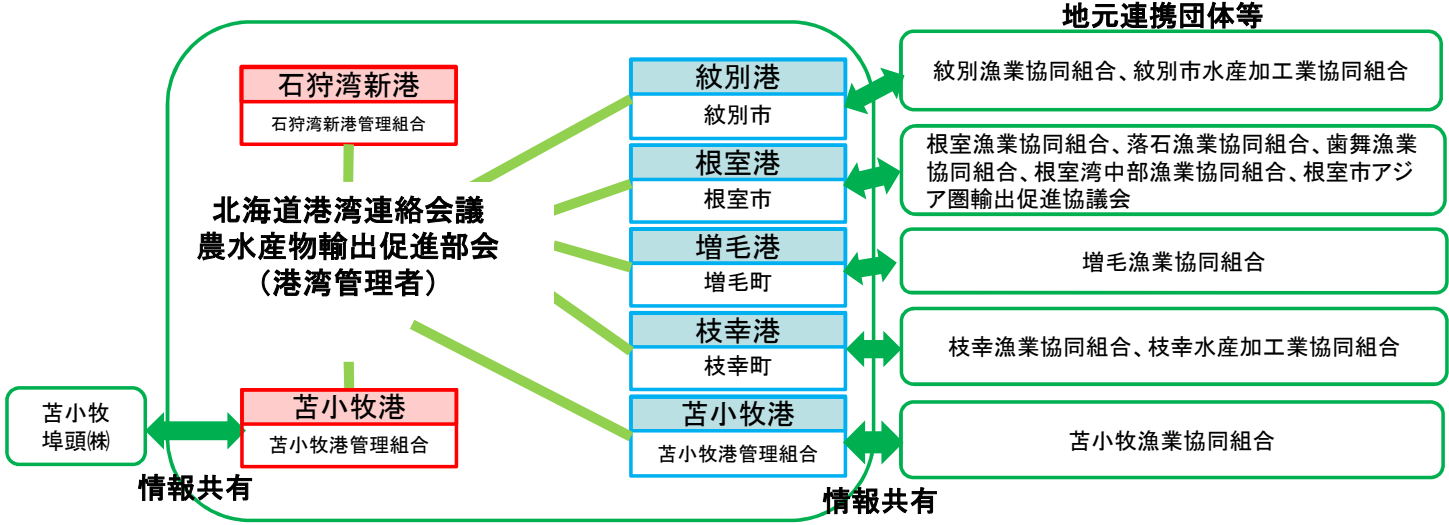
北海道総合開発計画による道産食品輸出額の目標算定方法に準じて設定

目標輸出額

輸出拠点港湾	H26実績値	H37目標値
石狩湾新港	95億円	197億円
苫小牧港	329億円	707億円

- 連携水揚げ港湾における目標**
- ・輸出対象魚種の魚価について、過去10年平均の魚価以上となることを目指す。
 - ・輸出対象魚種の輸出量について、増加を目指す。

本計画の着実な推進を図るための体制



※各港湾管理者は、地元の漁業協同組合、農業協同組合、物流事業者、関係市町村の農林水産担当部局等との情報交換を行うものとする。

農水産物輸出促進計画(北海道)の概要②

本計画における各港の計画

増毛港（連携水揚港湾）

施設整備計画

- ・屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- ・韓国等のバイヤーの積極的な現地視察受入
- ・衛生管理の向上により鮮度低下を防ぐ各種取組

枝幸港（連携水揚港湾）

施設整備計画

- ・屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- ・漁業者及び水産関係団体等により、「オホーツク枝幸ブランド」の定着及び拡大に向け活動

紋別港（連携水揚港湾）

施設整備計画

- ・屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- ・「紋別港水産物輸出促進協議会」による輸出促進活動
- ・紋別漁協による衛生機能向上への取組み
- ・「浜の活力再生プラン」による紋別水産物のブランド化

石狩湾新港（輸出拠点港湾）

施設整備計画

- ・貨物積替円滑化支援施設の整備
- ・リーファーコンテナ電源供給設備の増設

施設整備以外の取組計画

- ・港湾管理者、物流事業者や荷主を中心に協議会等を設置、外資コンテナ貨物による農水産物・食品の新たな創貨や集荷等を検討

根室港（連携水揚港湾）

施設整備計画

- ・屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- ・「根室市アジア圏輸出促進協議会」による東南アジア地域等への冷凍さんまの販路拡大活動に取組む計画

苫小牧港（輸出拠点港湾・連携水揚港湾）

施設整備計画

- ・民間企業による冷凍・冷蔵倉庫の建設
- ・屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- ・「苫小牧港漁港区将来ビジョン21検討会」による、東南アジア向けの各種水産物の輸送実験
- ・農産物の通年出荷に向けた取組
- ・「フードビジネス・ロジスティクス・イノベーション推進協議会(仮称)」を設置し、新商品開発と輸出拡大に取組む

コンテナ船等
により輸出

国際フィーダー船等
により輸出

